



JAしまねびより

2022

1

January
Vol.70



特集

2022年も目標に向かって“トラ(寅)イ”!!

＼SNSで旬な情報を投稿しています／



JALまね 隠岐地区本部版

謹んで初春の
およろこびを
申し上げます



代表理事組合長 石川 寿樹

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 名原 佳宏

役職員一同



代表理事組合長

石川 寿樹

新年あけましておめでとようございませす。組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。令和4年の年頭にあたり、皆様から旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月から8月にかけて豪雨や台風等の自然災害に見舞われ、県内でも多くの被害が発生しました。被災されました組合員の皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後とも復興に向けた支援に取り組んで参ります。

また、新型コロナウイルス感染症につきましては、ワクチン接種が進んだこともあり、国内では新規感染者が減少傾向にあります。しかしながら、ここに来て新種のオミクロン株への感染も拡大しており、未だ収束の兆しは見えておりません。

一方、農業に目を転じますと、原油価格の高騰により燃油や資材、肥料や飼料の価格が大幅に上昇し、農家経営を大きく圧迫しています。

特に県内農業の基幹的作物である米については、国が市場隔離による需給改善対策を示しているものの、コロナ下起因する外食需要の減少等による消費の低迷、民間在庫量の増加による厳しい販売見通しから、昨年8月の段階では、JAしまねの令和3年産米単価を前年から2千円程度引き下げざるを得なくなりました。

こうした中、JAしまねといたしましては、稲作農家の皆様の経営を支援するため、12月にお支払いする従来の追加金に加え、米価下落を踏まえたJA独自の経営継続支援の実施を決定いたしました。今後もJAの使命として、米だけでなく、畜産や園芸作物につきましても、できる限りの支援に取り組んで参ります。

事業運営につきましましては、各部門にコロナ下の影響が及んだものの、事業管理費の削減等に取り組み、令和3年9月末仮決算は計画を上回る成果を上げることができました。組合員の皆様のご利用、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、本年は「第3次中期経営計画」、「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」がスタートする重要な年です。ポストコロナ時代を見通し、JAしまねの「めざす10年後の姿」を実現するための具体策を計画に反映させ、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けた「不

断の自己改革」に取り組んで参ります。

また、JAを取り巻く経営環境は年々厳しさを増しており、盤石な経営基盤を確立するため、営農経済事業・信用共済事業、2つの事業改革を更に進めていかなければなりません。

まず、営農事業におきましては、コロナ下で落ち込んだ販売高の早期回復と増益を目指し、広域指導体制の構築により重点品目の更なる生産拡大に取り組みます。また、今秋に開催される全国和牛能力共進会での入賞を目指し、関係機関と協力して「しまね和牛」の評価向上にも努めて参ります。

一方、信用共済事業につきましましては、令和3年度での事業改革完遂に向けて、各地区本部で店舗再編やATMの再配置、事務集約・効率化等に取り組み、大幅な収支改善を図りましたが、今後の厳しい経営環境に備えるため、不断の改革に取り組んで参ります。何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、組合員の皆様、地域の皆様にとりまして、本年が実り多く、健康で明るい年となりますようお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



甘くて柔らかい白ねぎでブランド化を目指す

出雲市の西側にある神西（じんざい）地区。砂地という好条件を活かし、古くより白ねぎの生産が盛んな地域です。代々農家を営んできた石飛家でも、以前から白ねぎを生産してきました。この地区で作



1番美味しいのは1月。「冬の寒さに打ち勝って育った神在ねぎは、ぎゅっと甘みが増す」と石飛さん

石飛 政樹さん(46才)

今月は、出雲地区本部。出雲市大島町で「出雲神在（かみあり）ねぎ」の生産に取り組むJAしまね出雲神在ねぎ部会・部会長の石飛政樹さんにお話を伺いました。



考える必要がありました。そこで石飛さんはJAに相談。皆が同じ品種を栽培し、新たなブランド化を目指し動き始めることに。いくつかの試験栽培を行い、甘みが強く柔らかい品種を選びました。石飛さんは「普通の白ねぎとは一番かけ離れているものが良かった。その方が差別化も図れ、ブランドとしても確立しやすかった」と振り返ります。こうして、平成19年から本格的な作付けを開始し、出雲大社に神々が集まる旧暦の「神在月（10月）」に収穫が可能になることから「出雲神在ねぎ」と名付け、売り出すことになりました。

繊細でデリケートな白ねぎ

神在ねぎは、甘くて柔らかく全部美味しく食べられることから、葉をつけた状態で出荷・販売されます。葉まで柔らかいことが特長ですが、それ故に繊細でもあり、育てることがとても難しい作物です。そのため、収穫も茎葉を傷つけないように丁寧に行います。また、袋詰



丁寧に収穫していきます

めの際も、葉が折れないように慎重に入るなど、最後まで気を遣う作業が続きます。病気に弱く、害虫もつきやすい上に、大雨などで水に浸かっってしまった場合は腐ったり折れやすくなります。それらの問題にも頭を悩まされてきたという石飛さん。令和3年の夏は2回も豪雨に襲われた出雲地方。石飛さんの畑も約半分が被害に遭いました。石飛さんは「通常より早い時期に植えて、梅雨〜夏の大雨が降りそうな時期までにある程度大きさに成長させておくなどの対策が必要」と、今後に向けあらゆる予防策を模索しています。

この美味しさをもっともつと広めたい

こうして手間ひまをかけ大事に扱ってきたからこそ「良いものができた時は格別に嬉しい」と笑顔で話す石飛さん。「もっと欲しいと言われると、こちらも張り切ります！」と、需要がある時が一番やる気が出ます。暖冬などの理由から、家庭で鍋料理をしなくなると、白ねぎの出荷がストップされることも。白ねぎの美味しい季節になって、たくさんの人に食べてもらいたいと願っています。

キャンプでリフレッシュ

時間があればキャンプに行き、息抜きをしている石飛さん。お子さんたちが小さい頃は、家族で行っていましたが、今は大きくなり一緒に行く



神在ねぎを傷つけないよう気を付けながら作業



雨が降ると作業工程が増えるため、晴れの日に多めに収穫するなど事前に調整しながら収穫を進めます

機会は減ってしまったそうです。しかし、周りにはキャンプ好きな友人が多く、集まることも。その日の収穫が終わり次第出掛けることもあり「作業終了のお酒は格別に美味しい」と笑顔をみせます。冬場であっても市内のキャンプ場にしょっちゅう足を運んで大きめのテントの中でストーブを焚き、お鍋とお酒を楽しんでいます。仲間とともにワイワイお酒を飲むことが、石飛さんにとって最高のリフレッシュタイムなのだとか。



リフレッシュの時間となっているキャンプ

作業を組み立てることがおもしろい

以前から神西地区のほとんどの農家は、ハウス栽培と露地栽培を組み合わせながら、それぞれに合った作物やスタイルを選び一年を通して仕事をしています。石飛さんもその一人で、年間で様々な作物を栽培しています。「一年の作業を組み立てることはすごく大変だけど、おもしろい」と語る石飛さん。きちんと仕事を組み立てていくことで、今までと同じ面積でも仕事量が増え、収入にも反映される農業のおもしろさを感じています。また、それに伴って人手確保や今後の課題も見えてきたと言います。昨

プチっと情報!

出雲神在ねぎ

柔らかくて甘みが強く、葉まで食べられるのが特長です。石飛さんおすすめの食べ方は「鶏肉とねぎをアルミホイルで包み、オープンで焼く」。ねぎの旨味と鶏肉の油がマッチしてとても美味しいのだとか😊
この機会にぜひ。



★お問い合わせ先★

J Aしまね出雲地区本部
営農部販売開発課
電話：0853-21-6118

年から一人雇いし、今後は家族経営ではない継承の方法も視野に入れています。「神在ねぎの知名度はまだだ。もっと多くの人に知ってもらいたい」と今後の意気込みを語る石飛さん。今よりさらに農業をおもしろく、そして効率的な農業を目指し、石飛さんの挑戦は続きます。



笑顔が印象的な石飛さん。
神在ねぎを多くの人に食べてほしいとPRします

って“トラ(寅)イ”!!

新年あけましておめでとうございます。

さあ、新たな年がスタートしました。今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」。厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となる年と言われているそうです。そんな新年第1号の特集では、目標に向かって“トラ(寅)イ”し続ける、各地区本部の若手農業者をご紹介します。

合同会社Torchを設立し、今年度から菌床シイタケを栽培しています。従業員を増やし、皆が楽しく働ける会社にしていきたいです。



就農して、4年目となります。ファーマーズマーケットでの消費者との関わりを大切に、収量アップの1年になるように頑張ります。



出雲市荒茅町【出雲地区本部】

松本 頼明さん(40)(右)
金崎 幹徳さん(38)(左)

経営規模

●菌床シイタケハウス3棟
年間43,200菌床で栽培

松江市西忌部町【くにびき地区本部】

伊藤 成海さん(23)

経営規模

●花40㎡ ●ハウレンソウ2㎡

就農2年目で水稻を栽培しています。日々の管理を徹底し、品質向上、収量UPを目指しています。今後は規模拡大を図りながら地域農業を盛り上げていきたいです。



安来市久白町【やすぎ地区本部】

南 真之さん(38)

経営規模

●イチゴ(高設栽培)6㎡

兵庫県から1ターンし就農1年目。アパレル業界から一転、妻の実家である安来市でイチゴ作り。いつかイチゴ作りを通して、趣味のアウトドアと関連したイベントを開きたいと考えています。

現在、消費者からの信用と経営の安定を目指して個人での美味しまねゴールド認証取得に向けて頑張っています。菌床シイタケを通して地元の方たちとの繋がりをもっと築いていきたいと思っています。



出雲市斐川町【斐川地区本部】

深津 健太さん(22)

経営規模

●水稻2.7㎡

来島牧場に入社し約2年半。人工授精(AI)・受精卵移植(ET)などの繁殖技術向上を目指すとともに、将来牧場で活躍する育成牛を育てるため日々頑張っています。



飯南町【雲南地区本部】

曾田 春奈さん(25)

経営規模

●来島牧場：搾乳牛約360頭、
子牛約60頭

2022年も目標に向か



就農して3年で、繁殖和牛を20頭飼育しています。良い母牛と子牛を育てるために、日々勉強しています。

知夫村【隠岐どうぜん地区本部】

稲澤 義治さん (40)

経営規模

- 繁殖用和牛 母牛20頭、子牛7頭



もっと生産量を増やして、隠岐地域の皆さんに新鮮な野菜を食べてもらい、地元園芸農業を担う生産者のひとりとして地産地消に貢献したいです。

隠岐の島町【隠岐地区本部】

柴 功一さん (36)

経営規模

- ハウス施設野菜10畝[㎡] (キュウリ、トマト)
- 野菜苗生産8畝[㎡]
- 露地野菜20畝[㎡] (レタス、キャベツ、ブロッコリーなど)

雇用就農から独立して1年目。農業・化学肥料を使わずに栽培をしています。白ネギを中心に置き、品目を模索しながら年間を通して売り上げが上がるように頑張ります。



大田市長久町【石見銀山地区本部】

清水 啓介さん (35)

経営規模

- 白ネギ18畝[㎡]
- レタス10畝[㎡]
- 白ナス5畝[㎡]
- 大豆8畝[㎡]
- 米10畝[㎡]

8年前に就農しました。将来的には、技術や産地としての価値を高め、新規就農者や農業体験に来た方にアドバイスをしていきたいです。

就農して8年経ちました。大変な事が多いですが、収穫の時の喜びが忘れられないので続けています。将来的には収穫した作物を全国の人たちに届けていきたいです。



浜田市金城町【いわみ中央地区本部】

清本 香さん (32)

経営規模

- トマト2.5畝[㎡]
- なす3畝[㎡]
- ぶどう5畝[㎡]
- その他6畝[㎡]

益田市須子町【西いわみ地区本部】

金山 千年さん (30)

経営規模

- トマト36.5畝[㎡]
- メロン延べ40畝[㎡]



美郷町【島根おち地区本部】

新田晋太郎さん (36)

経営規模

- 菌床ブロック3万個





新年のごあいさつ

J Aしまね女性部

部長 高橋美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

令和元年度からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、私たち女性部の活動も中止やWEBでの開催を余儀なくされました。そのような状況の中、私たちJ Aしまね女性部は昨年度からコロナ禍によって困窮している学生や子ども食堂、フードバンク事業を支援するため、女性部員が玄米を持ち寄り集まったお米を寄贈する“米一握り運動”を実施しています。今年度は2回に分けて行うこととしており、現在1回目が終了しました。1回目はJ Aしまねや島根県青協の皆様のご協力もあり、1,370kgの玄米が集まりました。集まったお米は、県内の子ども食堂・フードバンク・大学に寄贈いたしました。この運動にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年こそは、コロナが収束し、例年通りに女性部活動ができること、そして何より世界中が安心安全な状態で普通の生活を送ることができるように願って止みません。

今年も私達女性部に変わらぬご指導、ご協力をお願いすると共に皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



フードバンクへ米を寄贈する
寺内副部長(右)



子ども食堂へ米を寄贈する
高橋部長(左)と飯塚副部長(右)



新年のごあいさつ

島根県農協青年組織協議会

会長 草野 拓志



新年あけましておめでとうございます。

日頃より島根県青協の活動に対しご理解ご協力賜わりまして、誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、青年部、営農活動ともに新型コロナウイルスの影響が続く中で的一年となりました。外食産業の需要低迷や米余りによる米価の大幅な下落、円安やOPECによる原油生産の引き締めにより燃料代の高騰、中国及び新興国の経済発展に伴う飼料の買い占めによる餌代高騰など、農業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。そういった中で、地域において懸命に営農活動をなされている生産者の方々に敬意を表すところでございます。

昨年は、いろいろと考えさせられた1年でしたが、島根県青協として、J Aや島根県農政に意見陳情を行う等、しっかりと活動してまいりました。

農業者の意義は食を支え農地を守り引き継いでいくことです。それには営農活動を続けていくことが一番大事であり、地域で頑張る生産者をJ Aや島根県農政と一体となって支援していくことが非常に大切です。私は本年で会長に就任し4年目となりますが、少しでもその架け橋となれるよう、また、島根県の農業振興の為、本年も尽力していく所存でございます。

そして、逸早い新型コロナウイルスの終息を祈りつつ、本年が皆様にとって実り良い年でありますことをご祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

島根県農業協同組合 隠岐地区本部
常務理事本部長 佐々木 賢治

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より、JAしまね隠岐地区本部の各事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、度重なる自然災害と世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響で経済・社会活動が大きく低迷した一年となりました。

隠岐地区本部では、新型コロナ禍等で経済活動が制限される中、JAしまねの自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3本柱を重点課題として各事業に取り組んでまいりました。農業振興支援資金を活用した農業用機械・施設の支援対策、リースハウス事業導入による園芸品目の振興、繁殖農家への子牛増頭支援対策、隠岐牛販売促進活動の他、担い手支援対策に取り組みました。また、地域活性化対策として、業績還元資金を活用した令和3年産上質米生産助成、主食用米経営継続助成の実施、また、JA杯グラウンドゴルフ大会等の地域活動にも積極的に取り組んでまいりました。

本年、令和4年度はJAしまねが策定した「第3次中期経営計画」と「第3次農業戦略3ヵ年営農計画」が始まります。組合員の皆様に目に見える形で着実に実行し、自己改革と事業改革を両輪として位置づけ取り組んでまいります。JAを取り巻く環境は、人口減少、高齢化、担い手不足、世界中に広がるコロナ禍等の環境変化に直面しています。さらには、デジタル化、地球温暖化、自然災害の頻発、SDGsをはじめとした持続可能な社会実現への潮流など、まさに時代の転換期にあるといえます。この様な環境の中、隠岐地区本部では、昨年末に事業改革の一つとして、長きにわたり地域の皆様方にご利用いただきました「中村店」を廃止し、現金自動預け入れ払い出し機(ATM)を導入いたしました。今後も、組合員、地域の皆様と膝を交える中でご意見をお聞きし、信用事業の事務の効率化に向けた支店機能の見直しについて、採算性や効率性を十分検証し取り組んでまいります。また、営農経済事業では、収支改善に向けての取り組むべき課題を整理し、施設の集約化や広域利用を含めた事業改革に取り組んでまいります。

大変厳しい経営環境の中ではありますが、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」を目指し、農業・地域・JAが劇的に変化する新時代に対応していくため不断の自己改革をさらに進め、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員や地域住民の皆さまに信頼され、お役に立てるJAとして、引き続き、農業の振興ならびに地域社会の発展に誠心誠意取り組んでまいります。組合員の皆様には、何卒、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

組合員・地域の皆様にとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

営農情報

隠岐産子牛の購買者を訪問

12月6日・7日の2日間で、隠岐の特産品である隠岐産子牛の販売促進を目的に、長野県の「たかどや牧場」、三重県の「豊田畜産」を島前島後の生産者・JAしまね役職員の10名で訪問しました。

たかどや牧場は毎年3回島前島後で開設する家畜市場で隠岐産子牛を購入していただいています。現在の飼養頭数は約400頭、農場2か所、産直市兼精肉店2店舗およびステーキハウス1軒を経営しており、飼育した牛は全て自家消費（自家販売）をされています。たかどや牧場との意見交換をする中で「隠岐の牛は餌の食い止まりすることなく出荷間際でも食べ続けてくれる」など隠岐産子牛に対し好印象をもっていた聞いています。

豊田畜産は和牛のほか交雑種や短角種など約1,000頭を飼育し、飼育段階で発生する牛糞を利用した堆肥の生産・販売にも力を入れておられました。この牛糞堆肥「ゆたか」は隠岐地区本部でも販売しています。豊田畜産からは「家畜市場に出荷前の隠岐での生育段階であまり発育の良すぎる（脂

肪がついて太りすぎている）牛を作らないでほしい。日齢より30〜40キロ少ない牛のほうが餌の食い止まりもよく、伸びがあつて良い」と言われました。今回訪問させていただいた2つの購買者とも、隠岐産子牛には好印象を持っており、今後も購買者の期待に応えられるよう、JAとしても引き続き生産者への巡回指導等を実施し、購買者に好まれる隠岐産子牛生産に努めてまいります。



たかどや牧場の牛舎



豊田畜産販売牛糞「ゆたか」

（報告／経済課）

（報告／経済課）

令和3年産島の香り隠岐藻塩米にかかると追加金のお支払いについて

1. 概要

令和3年産島根米に対する追加金をお支払いします。尚、支援金として200円が加算されます。

2. 追加金支払日

令和3年12月27日（月）

3. 銘柄・等級別追加金単価

（1袋30kgあたり）

銘柄	等級	仮単価	追加金単価	買入単価計	
島の香り隠岐藻塩米	特選コシヒカリジオ	1	7,600	200	7,800
	特選コシヒカリ	1	7,100	200	7,300
	一般コシヒカリ	1	6,000	200	6,200
	特選きぬむすめ	1	6,300	150	6,450
	一般きぬむすめ	1	6,000	150	6,150

令和2年産共同計算米にかかると最終精算金のお支払いについて

1. 概要

令和2年産島根米については、いったん共同計算による運営を実施し、令和3年6月末において販売残数を共同計算からJAが買い取りを行う「集荷後価格決定方式」を導入しています。この度、令和3年6月末時点での販売残数についてJAが買い取りを実施し、最終精算金が確定したため、対象者に対し精算金をお支払いいたします。

2. 精算金支払日

令和3年12月24日（金）

3. 最終精算額

対象数量 (1袋30kg入り)	精算単価 (1袋30kg)	精算金総額
13,589袋	43円	584,327円

※なお、精算金の計算について、精算金対象者および出荷日ごとの対象米に対し精算単価を乗じ、1円未満の端数を除いた金額を精算金としてお支払いしています。



（報告／経済課）

J A N E W S

グラウンドゴルフで地域のふれあいを深める



隠岐地区本部は11月20日、隠岐の島町総合グラウンドで第3回目となるJAしまね隠岐地区本部グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。本大会は、地域のグラウンド・ゴルフ愛好者を中心に人と地域のふれあいを深め、いつまでも健康で生き生きと暮らせる長寿社会を築くことを目的に令和元年度から開催しています。しかしながら、いまだにコロナ禍という世間の情勢のため、隠岐の島町グラウンド・ゴルフ協会と協議した中で、昨年に引き続き、感染拡大防止に配慮して参加者の規模を縮小しての開催としました。

開催当日は、グラウンド・ゴルフ愛好者36名が参加し、8ホール×3ラウンドで2時間30分ほどプレーしました。天候にも恵まれ参加者の皆さんは楽しみながら元気にプレーし、競技の結果、下西地区 村上常和さんが優勝、大久地区 木田久恵さんが2位、下西地区 宮西操さんが3位となりました。閉会後に参加者からは「来年もぜひ開催してほしい」との要望もいただきました。

隠岐地区本部としては、こうした声を受け、今後のコロナウイルス感染症などの状況に十分配慮しながら、地域社会に貢献できる取り組みを続けていきたいと考えています。



村上常和さん (前列中央)
木田久恵さん (前列右)
宮西操さん (前列左)

(報告／金融課)

生活困窮者向けに 支援米を寄贈

隠岐の島町農政会議とJAしまね隠岐地区本部は、管内の経済的に厳しい環境下にいる生活困窮者等に対する支援として、「島の香り隠岐藻塩米480kg」を寄贈しました。

寄贈は隠岐の島町社会福祉協議会を通じて実施し、12月15日には隠岐の島町農政会議一瀬隆男副会長と隠岐地区本部佐々木賢治常務理事本部長が隠岐の島町社会福祉協議会を訪れ、吉田義隆会長に支援米を手渡しました。

JAしまね隠岐地区本部では、環境文化福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会を築くため、今後とも活動をおこなってまいります。



吉田会長 (左) 一瀬副会長 (中央)
佐々木本部長 (右)

(報告／企画総務課)

ご来店感謝デー開催

令和3年12月15日(水)にJAしまね隠岐地区本部全支店において、ご来店感謝デーを実施いたしました。本イベントにつきましては、組合員・利用者の皆様へ日頃のご愛顧に対する感謝をお伝えする日として、県下全地区本部の店舗において毎年様々な企画を実施しています。

今年度は、来店者への粗品および地元野菜のプレゼント、お知らせ情報チラシの配布を行いました。地元野菜のプレゼントについては、コロナ禍で消費が落ち込んでいたこともあり、少しでも地元農家さんの手助けが出来ればという思いから企画いたしました。

開催日には、隠岐地区本部内の全店舗合わせて約240名の組合員・利用者の皆様にご来店いただき、日頃の感謝をお伝えすることができました。とくに、地元野菜のプレゼントは皆様に大好評だったようで、『野菜のプレゼント企画は、毎年恒例にしたらどうか』のご提案も頂きました。

今後も、このようなイベントを開催し、組合員・利用者の方々に少しでも喜んでいただければと考えています。



(報告／金融課)

J Aしまね女性大会ならびに
島根県家の光大会へ参加

12月3日、J Aしまね隠岐女性部は、第37回J Aしまね女性大会ならびに第22回島根県家の光大会へ参加しました。

大会はコロナ禍を考慮し会場をJ A本店・東部・中部・西部の4会場に分散し、各会場をWebで繋げ開催されました。J Aしまね隠岐女性部は藤田部長をはじめ事務局を合わせ4名で東部地区へ参加し、大会全体では各地区女性部員・関係者等総勢約200名が参集しました。

大会では「家の光」図書の記事を活かした活動・体験発表があり、発表者の応援団からのにぎやかな激励の後、3名の女性部員が発表し、「一歩ふみだす勇氣」「継続は力になり、協力の力になる」「SDGs」をキーワードとした内容となりました。

また、防災に関する講演や各地区女性部が持ち寄った特産品が当たる抽選会など、楽しみのある大会にもなっていました。

大会を通じて女性同士のつながりが更なるエネルギーになっていくと改めて感じる事ができました。J Aしまね隠岐女性部でも今後「つながりの場」となるよう活動していきま。現在、部員を募集していますので、管内の女性であればなたでもご参加いただけます。詳しくは、J Aしまね隠岐地区本部企画総務課（TEL21131）までご連絡をお願いします。



（報告／企画総務課）

隠岐地区本部運営委員会情報

令和3年11月19日（金）に開催の隠岐地区本部運営委員会にて協議された主な協議事項および報告事項は次の通りです。

【協議事項】

1. 令和3年度業績還元資金の使途について

令和3年度産米について、コロナ禍により外食産業等の米消費が減少し、全国的に米余りの状況となったこと等の影響により、J Aしまねでは令和3年度産うるち米の仮単価を対前年比で60kgあたり▲2,000円の設定としました。この水準は近年にない低水準であり、水稻農家にとっては経営に影響があるものであるため、隠岐地区本部では農業経営の安定に繋がることを目的に「主食用米経営継続助成」として助成金を支出する。

【報告事項】

1. リースハウス事業について
2. 令和2年度産米最終精算金の支払いについて
3. 令和3年度産米集荷状況について
4. 令和3年11月西郷家畜市場の市況について
5. 隠岐地区本部管内支店貯金窓口の営業時間変更について
6. 令和3年度半期決算状況について
7. 経済事業改革進捗状況について
8. 中村店廃止に向けた進捗状況について
9. 土地の売却について
10. 令和3年7月豪雨災害支援募金の支払いについて
11. 隠岐地区本部職員人事異動について
12. 理事会報告
13. 隠岐地区本部経過報告（9月～11月）
14. 令和3年度10月末 隠岐地区本部各事業実績状況報告

（報告／企画総務課）

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介いたします。

毎月J Aしまねびよりを楽しみに読ませて頂いています。農業青年部の方の頑張りやうれいことです。隠岐のために宜しく願います。
（代・Sさん）

寒くなりコタツからなかなかぬけられない毎日、先月号の健康散歩記事を読んで役にたちました。また、隠岐の人の農業をがんばってる記事を読んで、頭が下がります。
（有木・Mさん）

先月号で農具についていていねいに取り上げてくださり、よく分かりました。道具は大事ですよ。
（栄町・Kさん）

J Aしまねびよりの記事で、食材レシピもうれいのですが、クロスワードパズルも楽しみです。
（有木・Tさん）

J Aしまねびよりを毎月楽しく読んでいます。地元の話が有り野菜作りの参考にしています。
（那久路・Kさん）

先月号に掲載されていた柴功一さんの野菜栽培での意欲と努力で、島で新鮮で安心な作物が食べられてうれいです。
（上西・Hさん）

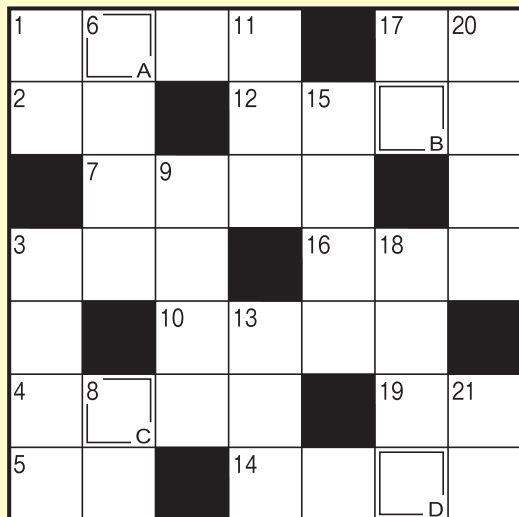
たくさんのお便りお待ちしております。



CrossWord Puzzle クロスワード パズル

二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ①力士が頭のでっぺんに結います
- ③ベッドルームともいいます
- ⑥南へと吹き抜けていきます
- ⑧父はロバ、母はウマ
- ⑨青→黄→赤と変わるものをよく見掛けます
- ⑪宍道湖の名産である二枚貝
- ⑬水瓶座と牡羊座の間
- ⑮訴えや申請などが退けられること
- ⑰——かまぼこ、——団子、——笛
- ⑱鉄道のレールの下に並べます
- ⑳テレビ——の録画を予約した
- ㉑魚へんに師と書く出世魚

ヨコのカギ

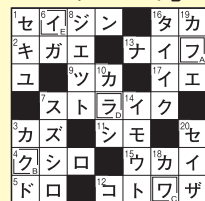
- ①節分の日に丸かじりする地方もあります
- ②歯がある履き物
- ③世界遺産には文化遺産や——遺産があります
- ④ほっそりした指の例えに使われる魚
- ⑤酸っぱいものを見ると湧きます
- ⑦特定のヤギの毛を使った高級な毛織物
- ⑩受験生が勝ち取りたいもの
- ⑫江戸幕府の旗本、御家人の総称
- ⑭——頭をたたいてみれば文明開化の音がする
- ⑯酒のお供です
- ⑰年齢を尋ねられたので——を読んで答えちゃった
- ⑲愛を英語でいうと

応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品
正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
J Aしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
2022年2月4日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「フクワライ」



俳句の広場

最優秀賞

ひとり居の友を氣遣ひ根深汁

津和野町 田中とよし様

選句者「白魚火」編集長・副主任
安食彰彦先生

優秀賞

画用紙に虫の合唱描きにけり

出雲市 中尾真紀子様

出雲弁いよよ佳境やおでん酒

出雲市 藤江 堯様

夫の肩揉んで勤労感謝の日

出雲市 竹田喜久子様

佳作

ためらひて五年日誌を求めけり
御僧に声かけられし紅葉溪
亡き義母の味を受け継ぎ柚子を炊く
相づちのありてはつこり日向ぼこ
風を呼び波まで凍つる海のこゑ

出雲市 大國千登世様
出雲市 小豆澤典子様
安来市 斎藤美重子様
浜田市 三沢 孝子様
兵庫県 小田 慶喜様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」2月号定価 629円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

- 俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
- ※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
- ※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
- ※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
F A X : 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

～ JALしまね・JA共済から大切なお知らせ～

「農業用自動車の事故」しっかりと備えていますか？

こんなことになってしまう前に、是非ご相談ください。

<p>ケース 1</p>  <p>トラクターが農作業中に横転し、運転者が下敷きになりケガをしてしまった。</p>	<p>ケース 2</p>  <p>トラクターで、他人をケガさせてしまった。 自動車事故により他人を死傷させた場合、高額の特約賠償責任を負う恐れがあります。</p>	<p>ケース 3</p>  <p>トラクターで他人の車とぶつかって壊してしまいました。</p>
--	---	--

お得なお知らせ

お見積りキャンペーン実施中！
見積りだけで豪華賞品が当たります！（抽選）

<p>A賞</p> <p>200名抽選</p> <p>Dyson Supersonic Ionic ヘアードライヤー</p>	<p>B賞</p> <p>200名抽選</p> <p>BALMUDA The Toaster</p>
---	---

★ 重点実施中！ ★

農業リスク診断活動実施中！
農業用自動車（トラクター等）のお見積り・保障の見直しも、是非お声掛けください。



※賞品は一部抜粋です。また、賞品のデザイン等はイメージです。キャンペーンの詳細についてはお近くのライフアドバイザー・支店担当者等へお問い合わせください。
※この資料は概要を説明したものです。ご検討・ご契約にあたっては、「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
[No.21320320238]



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引 のお知らせ

JALしまね×洋服の青山・はるやま

店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 〈洋服の青山〉松江店・島根 斐川店・出雲浜山通店・浜田店・米子本店・三次店
〈はるやま〉松江店・島根三刀屋店・出雲店・島根大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会（入会無料）が必要となります。

JALしまね お問い合わせ / 本店経済部 TEL: 0853-25-8912

大根と鶏肉の照り煮



- *コメント***
- ・大根に和風だしを振ってレンジで加熱することで煮込み時間を短縮し、うま味もしみ込みます。
 - ・出来上がってから2時間くらい置くと味がしみ込んで、ご飯のおかずが最高です!
- *アレンジ***
- ・鶏肉は手羽元でも手羽先でもお作りいただけます。
 - ・こんにゃくや人参、ごぼうを加えると彩も増します。

材料 (4人分)

- 大根…………… 小1本 (800g)
- 和風だし (顆粒) ……小さじ1
- 鶏もも肉…………… 1枚 (300g)
- サラダ油……………小さじ2
- ゆで卵…………… 2個
- 砂糖……………大さじ2
- 酒……………大さじ2
- みりん……………大さじ2
- A 酢……………大さじ2
- 濃口醤油……………大さじ3
- オイスターソース…大さじ1
- 水…………… 300cc
- 細ねぎ…………… 1~2本

作り方

- ①大根は1.5cmの厚さで半月切りにし、耐熱皿にのせて、和風だしを振りかけ、水大さじ1を加え、ラップをしてレンジ (600w) で7分間加熱する。
- ②鶏もも肉は一口大に切り、細ねぎは小口切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、鶏もも肉の皮目を下にして並べ入れ、焼き色を付ける。同様に裏面も焼く。
- ④Aの調味料と①の大根を汁ごと加え、蓋をして煮る。
- ⑤沸騰したら殻をむいたゆで卵も入れ、クッキングシートをかけて落し蓋にし、フタをして大根が軟らかくなるまで上下を時々返しながらかける。(弱火から中火で約15分間)
- ⑥蓋を取り、落し蓋はかけたまま汁気を飛ばす。(中火で5分間)
- ⑦器に盛り、卵を輪切りにして乗せ、細ねぎを散らしたら完成。

材料 (4人分)

- ササミ…………… 4本
- 酒……………大さじ1
- 片栗粉……………大さじ1
- 蕪または大根…………… 200g
- ほうれん草…………… 100g
- ササミゆで汁…………… 400cc
- 白だし……………大さじ2
- A みりん……………小さじ1
- 塩…………… 小さじ1/4
- 生姜汁……………少々
- 柚子皮…………… 4枚

作り方

- ①蕪 (または大根) は皮を剥いて、すりおろす。
- ②ほうれん草は茹でて水に取り、水気を絞って3cmの長さに切る。
- ③ササミは筋を取り、一口大のそぎ切りにして酒をもみ込む。
- ④鍋にお湯を沸かし、③のササミに片栗粉をまぶして1枚ずつ茹で、取り出す。
- ⑤鍋にAとすりおろした蕪 (または大根) を入れて中火にかけ、煮立ったら取り出しておいたササミを加え、ひと煮たちさせる。
- ⑥椀に盛り、②のほうれん草と柚子皮をのせたら完成。

ササミのみぞれ汁



- *コメント***
- ・ヘルシーで風邪予防にピッタリ!おなかにも優しい一品です。
 - ・白だしと鶏肉のゆで汁で簡単に美味しいだし汁ができます。
- *アレンジ***
- ・豆腐や油揚げ、カニカマ等プラスしてボリュームアップ!
 - ・うどんやそば、そうめん、焼き餅にかけてもおいしいです。
 - ・ササミは、鶏むね肉や白身魚切り身でも代用できます。



健康散歩 乾燥肌とかゆみ対策

JA島根厚生連

1月に入り、寒さが一段と厳しくなってきました。冬は空気が乾燥し、肌の乾燥やかゆみなど皮膚トラブルの多い季節でもあります。そこで今回はかゆみに対する基本的な対策を考えていきましょう。



まず、かゆみの原因である乾燥肌について説明します。健康な肌は水分と脂分とが適度に保たれており、皮脂膜が皮膚の表面を覆って水分の蒸発を防いでいます。冬になると空気の乾燥と室内の暖房による乾燥とで肌の水分が蒸発しやすくなります。肌の水分量が減ると、脂分の分泌量も減り皮脂膜が失われて、カサカサとした肌になってしまいます。この状態が乾燥肌です。乾燥肌になると皮膚に軽い炎症が生じ、かゆみが起こりやすくなります。

◎乾燥肌を予防し、かゆみを発生・悪化させないポイント

- ①入浴時に皮脂膜が失われないようにしましょう。石鹸をつけて強くこすらないこと、長湯をしないことが重要です。

- ②室内で暖房器具を使っている間は湿度を50%以上に保ちましょう。湿度が低いと皮膚の水分が蒸発しやすくなり、乾燥が進みます。加湿器を使う、洗たく物を室内で干すなどの工夫をしましょう。
- ③かゆみがある場合は、かきむしるのを避けるため保冷剤などで冷やしたり、保湿剤を塗ったりしましょう。保湿剤には皮脂膜を保護する働きがあります。
- ④かゆみは衣類との摩擦が関係している場合があります。衣類の素材選びも大切で、繊維の織り方や糸の毛羽立ちなどが肌を傷めていることもあります。直接肌にふれる下着は、綿や絹などなるべく自然素材の衣類を選ぶようにしましょう。衣類の縫い目やタグが肌に当たるだけでかゆみが出るという方もいます。縫い目がない下着や衣類も販売されていますし、タグはハサミで切り取ると良いでしょう。

適切な対策で乾燥肌を予防し、かゆみの発生を防ぎましょう。必要があれば皮膚科医に相談し、悪化を防ぎましょう。

【編集後記】 新年あけましておめでとうございます。新しい年の始まりは、ワクワクと引き締まる気持ちとが混在していますが、皆さまはいかがでしょう。私が年の初めに行うのが、今年1年の目標リストの作成です。②細かくこまかく書いていきますが…まずは、皆さまに「JAしまねびより」を楽しんでお読みいただくのが目標。本年もよろしくお願いたします。(安)

JAしまね
公式ホームページ
JAしまね
検索